

高松体指犬より

VOL. 21



▲平成18年1月21日(土)～22日(日)
四国地区体育指導委員会研修会 於松山市



▲平成17年10月13日(木)～14日(金)
全国体育指導委員研究協議会於秋田市



ムツムツチャムンヅ!!
ムツムツスポーツ!



第7回 高松市60歳以上男子スローピッチソフトボール大会

優勝 新塩屋町体協
準優勝 木太ロートルズ
第3位 古高松体協



★優勝チーム★
新塩屋町体協チーム
毎週いつも元気に練習している姿を拝見しているの、力強さをとても感じました。優勝おめでとう

第7回 高松市 60歳以上男子スローピッチソフトボール大会

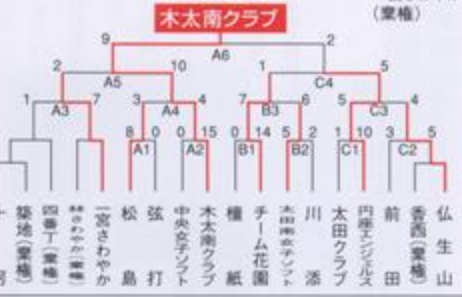
新塩屋町校区 川崎 千春

★優勝チーム★
木太南クラブチーム
今年、優勝クラブが一年ぶりに我が木太南クラブ女子ソフトボールチームに選ばれました。二十三回と二十四回のV2を達成したものの、前回の二十五回では決勝戦で敗れました。
我がチームは二十四歳で一人の子持ちママさんから、孫二人の五十二歳の大ベテランまで幅の広い選手層で、平均年齢は約二十八歳の酒好き、練習好きの選手ばかりです。週一回の練習では選手と同じ人数の約十人の男子監督、コーチの強烈なノックを受けています。
また、五十〜六十歳以上男子チームとの

第26回 高松市 さわやかママさんソフトボール大会

第26回 高松市さわやかママさんソフトボール大会

優勝 木太南クラブ
準優勝 円座エンジェルス
第3位 チーム花園



★優勝チーム★
元氣ハツラツ
ドッジボール大会
普及部副部長 佃 玲子
十二月四日(日)高松市総合体育館に於いて、第8回高松市元氣ハツラツドッジボール大会が開催されました。
参加13チーム、予選リーグを行い、全チーム決勝トーナメントに進み、熱戦が繰り広げられました。試合を重ねることにスピードが速くなり、どの試合も甲乙つけがたい攻防戦でした。
審判は主審・副審共にドッジボール協会の方をお願いし、体育指導委員は、線審、タイ

第8回 高松市 元氣ハツラツドッジボール大会

スローピッチでの真剣な練習試合も取り入れ、常に大きな声をかけることをモットーに、熱血監督の指導のもと気合を入れた練習をしています。
これからの毎年美酒が飲み続けられるように楽しく、楽しい練習に取り組みたいと思っています。
木太南クラブ 田中 唯彦

「やったー！優勝や!!」
審判が試合終了の笛を吹いた瞬間、コートの中にいた人も、初快挙に子どものように大喜び!!
今回で8回目を迎える校区対抗の大人のドッジボール大会、去年までは惜しくも予選で敗退することが多

★優勝チーム★ 太田体協チーム

次回への課題として、参加チーム数及びチーム編成等の問題があります。皆様のご意見をお寄せください。



く今年も楽しんで帰ろうと言う雰囲気
で参加しました。それが功を奏したのか試
合が進むにつれて、どんどんチームワークが
出来てきて盛りあがってその結果、優勝カッ
プと賞品を頂いて、本当にラッキーなこと
でした。

「楽しみながら優勝」をモットーに来年も
頑張ります。

太田体協 西岡 仁美

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

研修会

全国体指連合功労者 表彰を受賞して

築地校区 松原 真二

第四十六回全国体育指導委員研究協
議会が平成十七年十月十三日、十四日の
両日、秋田県秋田市において開催されま
した。全国から体指の仲間や社会体育関係
者など約四千名の参加のもと盛大に開催
され、会場の秋田県立武道館は熱気に溢れ、
開式通告の後、全国体育指導員連合会
功労者表彰の授賞式が行われ、香川県から
三名、高松市からは私を受賞させて頂きま
した。私の名前がメインのスクリーンに紹介
された時には何とも言えない緊張感に身
の引き締まる思いでした。表彰式の後、仲
間たちの席にもどり皆からおめでとうと言
われ本当に体指を続けていて良かったと思
いました。昭和五十九年に任命を受け、早
二期二十二年が過ぎようとしています。
長く体指を続けてこられたのも地区体育

協会や地区住民
皆様の深い理解と
体指の先輩方はじ
め、よき仲間たち
に恵まれたことだ
と思っております。
本当にありがとうございます。



第四十六回全国体育指導委員 研究協議会に参加して

鶴尾校区 山本 加賀子

第四十六回 全国体育指導委員研究
協議会に於いて、高松市から松原真二さん
が功労者表彰を受賞されました。おめでと
うございます。アトラクションでは、高校
生による「なまはげ太鼓」の演技があり会
場の中も熱気に溢れ、その余韻の残る中、
特別講演「リーダーは燃えるような厚い情
熱を持って」と題して、秋田県立能代工業
高校バスケットボール部前監督の加藤廣志
さんの講演がありました。

人を引きつける情熱に満ちた話しぶり
は、あつという間の時間でした。体育指導委
員という役を引き受けたものまだまだ
私自身が勉強の毎日ですが、今回始めて宿
泊での参加！ とても良い体験ができていま
した。体を動かすことがスポーツと思っていま
したが、これからは、健康づくり、仲間づく
り、生きがいづくりが一体となったスポーツを
地域に広めるお手伝いができればと思いま
す。機会があればまた参加したいと思いま
す。

全国体育指導委員研究協議会に 参加して

古高松校区 森 千佳子

「ご当地秋田ごまち娘に迎えられ、この度、
体育指導委員功労者に松原真二さんが表
彰されましたね。おめでとうございます。
特別講演では能代工業高等学校バスケッ
トボール前監督の加藤廣志先生による「リー
ダーは燃えるような厚い情熱を持って」と題
し、いかなるときにも希望を持ち、前へ前へ
と進まれる姿を思い浮かべることができま
した。

二日目は、分科会が開かれ、第一分科会
は、「自立した体育指導委員を目指そう」
との講演がありました。地域と共にある生
涯スポーツの推進に微力ながら取り組んで
行くと共に、指導委員としての責任の重さ
を感じる大会となりました。

秋の東北路は、とてもすがすがしく、ハブ
ニングもありましたが、思い出に残るもの
になりました。



第三十七回 四国地区体育指導委員研修会

十川校区 鹿庭 福久二

毎年恒例の四国地区研修会が大寒の中、
松山市で開催されました。道後の湯に入れ
る期待でちらつく雪もなんのその、と出か
けたのは私だけではないでしょう。
大会初日は表彰式から始まりました。高

松体指からは我らがマドンナ、今井さんと
丸吉さんが受賞の栄誉に輝きました。心よ
りお祝い申し上げます。

開会式の後には松山市長中村時広氏が「坂
の上の雲」のまちづくり」と題し、日本野球
の祖ともいえる松山ゆかりの俳人、正岡子
規やプロ野球オールスターゲームの坊ちゃん
スタジアムへの誘致の話などをからめた興味
深い講演でした。二十世紀のまちづくり推
進事業にスポーツを導入した取り組みは、
地方ならではの特色を活かしたことになる
ことでしょう。石毛宏典氏の「四国アイラン
ドリーグにかける」の講演も、日本初の独立
リーグの成長に奔走する石毛氏のひたむき
な姿が印象的でした。香川県民としては「頑
張れ、オリーブガイナズー」つとここでしよ
うか。二日目は分科会で「合併を超えて」
をテーマに吉野川市の発表がありました。
高松市も大合併を終えたところで、高松体
指の課題もいろいろあります。大幅に増員
となった新旧委員同士の交流も重要なポ
イントでしょう。またそれぞれが自覚をしつ
かり持ち、本来の体指のあり方を今一度見
つめ直して地域のスポーツ振興の一翼を担っ
ていきたいものです。
そうですすよね、城門会長？

頼りにしてまっせ！
さて分科会の前に私を含め二人の人達で
近くの伊佐爾波神社に参拝しました。長い
石段を上りきつて、句
春を待つ 石の階、雲の上 福



〔四国地区体育指導委員研修会
参加して〕

三溪校区 大屋敷 澄江
四国体指に参加させていただいて、有名人である、石毛四国アイランドリーグ代表の講演はとても興味をもって聴きました。今まで石毛代表が属していた「プロ野球界」で2億、3億稼いでも、もっと大きな世界に出たとき所詮「井の中の蛙」であった事に気付いたそうです。

そういうカルチャーショックもありながらも今の時代を変えていくのはスポーツではないかと思いつ、「四国アイランドリーグ」を立ち上げられたそうです。

一年目に100名いた選手のうち、40名を入れ替え、その解雇された選手のその後の仕事を共に考え提供していくこともされているようです。主に各県(地元)に残って第1次産業での仕事についてくれればと言う思いが強いようです。私の家も農家でですけど、若い人が少しでも仕事についてくれればと思いは同じです。最後に何をやるにしても「愛が大事」であると言われたのが印象的でした。「一番大事なことは「思い」なんだと教えられました。」



四国地区体育指導委員協議会
会長表彰を受賞して

林校区 今井 由美子
四国地区体育指導委員研修会において会長表彰を受賞させていただきました。

七期十四年、長かったような短かったような、「長いことお疲れ様でした。」なのか、「息ついて、もうひと頑張りしろよ。」なのか、どっちかなと思いつつ、この褒美を心の糧に、心新たに初心に帰って体育指導委員として、ますます研鑽していきたいと思っております。

諸先輩はじめ、仲間の皆様、ありがとうございました。

〔久しぶりの緊張〕

木太南校区 丸吉 江利子

「丸ちゃん、会長表彰頂けるよ。」と言われて、ビックリ!

以前の私は少し無理しても定例会、行事には参加していたのに、最近はあまり無理しなくなりしました。「生懸命も大切ですが、少し力を抜くこともいいかなと、都合よく考え、無理はやめました。が、初心も忘れていた感じが、この機会を与えてくださった事を二つの区切りとして、初心にもどり、素敵な仲間、素敵な思い出、すばらしい感動作りをしたと思います。

ありがとうございます。



〔第18回高松市校別
混成ソフトバレーボール大会〕

バレーボール部長 森 綾子
今大会は26チームの参加を得て開催しました。試合は実力が伯仲していた為か、3セットを使う試合が多く、選手の皆さんには楽しんでもらえたと思います。私連体指は、短時間で手際良くコートの設営をし大会の準備をしました。

また、初めて主審をしていた人もあり、みんな大会の運営に協力していただきました。判定で、まだ未熟なところがありますが、まずは審判台に上がってみるからです。ソフトバレーは二期二年間の最後の主管行事で、有終の美が飾れたと自負しております。



第18回 高松市校別混成ソフトバレーボール大会



発行/高松市体育指導委員
編集人/城門政文
編集/広成社
印刷所/万成社

編集後記
今期最後の「体指だより21号」をお届けします。盛りだくさんの内容のため紙面が少し窮屈になってしまいましたが、部員一同の熱意の作です。お楽しみください。
広報部長 今井 由美子

研修旅行
平成18年3月
11(土)~12日(日)
北陸 山代温泉
45名参加
大型バス満員でした。

インフォメーション
〔お悔み〕
古高松南校区
柳川邦江さん(実母)
〔お見舞い〕
木太北校区
森本 栄治さん(腰部手術)